~~XX

令和3年度日田市 埋蔵文化財センター企画展

本企画展示は平成の時代に日田市が行った発掘調査 の成果のなかでも、古墳時代の特徴的な墳墓を中心 に、皆さまに紹介するものです。

徳瀬遺跡では、後漢鏡片や福岡平野から持ち込まれた土器が出土し、長者原遺跡では、追葬された石棺系竪穴石室群が発見されました。このほか、日田市最大の65mの墳丘規模の前方後円墳の朝日天神山古墳群、多彩な装飾品や金属製品が副葬された平島横穴墓群などの調査によって得られた成果を出土遺物やパネルで紹介します。

また、併せて令和2年度に日田市が行った城下町遺跡や史跡咸宜園での発掘調査の成果も同時に紹介いたします。

日田市の先人の生活が刻まれた埋蔵文化財と現在の 姿を想像し重ねていただくことで、日田市の歴史、文 化などを感じていただければ幸いです。

> 日田市埋蔵文化財センター 主催:日田市教育委員会

SON SON





$2021/1.1/8_{\text{MON}} - 2022/3/30_{\text{THII}}$

休 館 日 土・日・祝日・年末年始 開館時間 9:00-16:00 展示会場 日田市埋蔵文化財センター展示室 (〒877-0078 大分県日田市友田2893-44)

内容についてのお問い合わせは 文化財保護課埋蔵文化財係 〒877-8601 大分県日田市田島2-6-1 TEL 0973-24-7171 http://www.city.hita.oita.jp - 人工資時代の日田の



令和3

年度日田市

埋蔵文化財センタ









須恵器大型平底壺(朝日天神山古墳群)

で自由にお持ち帰りください

発見した遺物が完成する道のり



調査開始!

遺跡がありそうな場所を 前もって調査したのち 遺跡が発見されたら、 本格的に掘って遺物を 探します。



遺物発見!

発掘作業を進めていると 土器や石器などの遺物が見つかります。 見つかった破片は出土地点ごとに まとめ、修復作業をする場所へ 持っていきます。



水洗作業

泥や砂がついた遺物の破片を 柔らかいブラシで ひとつひとつ丁寧に 洗います。 洗ったら乾かします。



接着 番号記入&組み立て

細い筆に絵の具を付け破片 一つ一つに番号を書いて いきます。書き終わったら、 破片の形を見てパズルのように 組み立てていきます。



石膏

完成!

石膏を付け補強したら 完成です。 沢山の人たちの地道な 作業によって一つ一つ 復元されていきます。

※遺物とは、土器や石器など調査で発見された物の総称です。









作衆した横穴墓から見える被葬者の姿 【平島横穴墓群】 古墳時代後期 (6~7世紀)

ウッドコンビナート建設に伴い平成 6・7 年度に発掘調査を実施し、古墳時代後期 の 80 基以上もの横穴墓が発見された。出 土遺物からは 6 世紀前半から約 100 年間 りが移り変わる様子を知ることが出来る。 横穴墓は一般民衆の墓とされるが、平島 横穴墓群からは装飾品や武器、馬具など 豊富な副葬品が出土しており、次第に階層 化していく社会のなかで下位集団まで威信



江戸後期の商家建物 【城下町遺跡】江戸時代 (18~19世紀)

確認され、調査区の南側からは瓦の集中す る層や 20 ~ 30 cm大の円礫が並べられた石 列などが検出されたほか、調査区北側には 深さ 1.6m程の深さの素掘り井戸も検出され た。これらの施設は、現在の草野家住宅 に至る前のものであると考えられ、住宅の 変遷を知る上で貴重な成果が得られた。



・日田が幕府 ・この頃、約一六四四年

絵図に永山城が

日田代官が

八一七年

咸宜園を開

近世最大の私塾である史跡「咸宜園」の 内容確認に伴い、 令和 2 年度に発掘調査を 実施した。今回の調査地は、塾の西側の 西家と言われる範囲のなかでも、西塾の北 側で現代に残る「井戸」付近であることから、 咸宜園の時代の遺構の存在が期待されてい た。しかし、縄文時代、弥生時代や近世 近代の遺物は確認されるものの、咸宜園の 時代と考えられる明確な遺構は確認されな



江戸幕府が成立す六〇三年



古墳時代初頭 (3世紀中頃)

市道建設に伴い平成 5 年度に発掘調査を 実施し、弥生時代~古墳時代の環濠集落 や墓地が見つかった。古墳時代初頭の墓 からは後漢(約2.000年前の中国)で製作 された鏡の破片が、また墓を囲む溝からは 日田盆地の土には存在しない「黒ウンモ」 が含まれた緻密な粘土で丁寧なつくりの土 器が発見された。これらは当時の福岡平野 から持ち込まれたと考えられ、他地域との 交流を背景とした有力集団の存在が想像さ



個人住宅建設に伴い平成 12 年度に発掘 調査を実施し、弥生時代の環濠のほか、 古墳時代中期の石棺墓・石棺系竪穴式石 室群が確認され、墓の内部からは多数の 至辞が確認され、墨の内部からは多数の 副葬品や人骨が発見された。環濠の存在 は、この付近に拠点的集落が存在していた ことをうかがわせ、古墳時代に至ると、こ れらの有力者集団が石棺墓や石棺系竪穴 式石室に埋葬されたと考えられる。遺跡の 付近には「原の長者」伝説で知られる穴観 音古墳などがあり、この一帯の地域豪族の 萌芽を見ることができる遺跡である。



日田最大の前方後円墳と謎の須惠器 【朝日天神山古墳群】 古墳時代後期 (6世紀)

2 基の前方後円墳からなる大分県指定史 跡で、重要遺跡確認調査に伴い平成 9 年 南端に東側から2基が並んで造られ、1号 2 号墳からは埴輪の代わりに用いられた大 型平底壷が大量に出土し、三輪玉などの 出土遺物から大和政権と関わりの深い首長 層の築造した墳墓と想定される。



近 代 H 古 墳 弥 旧石器

1868年

・永山城跡に日田県庁が設一八六八年 (明治元年) 八六七年

(慶応三年)

1568年

織田信長が上洛する一五六八年

臣秀吉が天下を統 五九〇年

・宮木長次郎

六〇一年

川光氏が月隈山に丸山城

大規模な堀に囲まれた建・慈眼山遺跡で武士の居館・大蔵氏の家系が断絶し、

室町幕府が成立する

三三八年

1192年 鎌倉幕府が成立する 一九二年 朝日宮ノ原遺跡で鏡や青磁を

慈眼山遺跡でこの頃の念持 日下部氏が活躍し、 大蔵氏が活躍する

平安京に都が遷される七九四年 豊後国風土記がつくられ七三二年

7 平城京に都が遷される 1-七百十年 小迫辻原遺跡で官衙風配置の建物群が建て 大型掘立柱建物が建てられる大波羅遺跡で日田郡の郡衙と考

法思寺山古墳や穴観音古墳などの装飾・法思寺山古墳が造られる・朝日天神山古墳が造られる・盆地北部の台地斜面に横穴墓が多数造・盆地北部の台地斜面に横穴墓が多数造・(小道・北友田・夕田など) 筑紫君磐井の乱が起こる

五百年頃

求来里川流域で初期須恵器やカマドが導入さ

四百年頃

鉄作りや須恵器作りが伝わる

土遺跡三号墳や長者原遺跡で墳

250年頃

二百五十年頃

小迫辻原遺跡で居館が営まれ

・吹上遺跡でオウ墓がの奴国王が中国皇帝よ約二千二百年前

九州北部に米作